

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山浦民謡ナンバ踊り普及継承事業		
事業主体 (連絡先)	山浦民謡踊り保存連盟 長野県茅野市米沢 吉田吟星 TEL0266-72-6803		
事業区分	教育文化の振興に関わる事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	888,490	円 (うち支援金: 657,000 円)	

事業内容

- ① 茅野市宮川のかんてん蔵で開催されたイベント「くらの市と村祭り」において、やぐらを組み提灯の下で盆踊りを実施(7月22日)
- ② 富士見乙事キャンプ場でキャンプ場利用者と盆踊りを実施(8月26日)
- ③ 毎月18日かんてん蔵で三味線・唄・踊りの練習(一般参加可)
- ④ 毎月第1木曜日、第2第4火曜日踊りの練習
- ⑤ 毎月第1第3木曜日、三味線練習
- ⑥ 発表会におけるおどりの披露(10月26日)



【乙事キャンプ場での踊り】

【目標・ねらい】

- ① 山浦ナンバ踊りをたくさんの人達に知ってもらい、踊りに参加し楽しんでもらう
- ② 踊りの伝承と新人の育成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 盆踊りは、イベント「くらの市と村祭り」と一緒に行うことにより、たくさんの方の人達に参加してもらえた。又、乙事キャンプ場には全国からたくさんの方の家族連れや若者が来ていて参加してもらえた。どちらの会場も多くの方の人達が参加して楽しむことができた。「また来年も楽しみにしているので、開催してほしい」と要望された。
- ② かんてん蔵・竹友会練習場所・前野教室で毎月練習をしたので、いつでもきちんとした踊りが披露できた。新たに三味線と唄を習いたい人が練習を始めた。

※自己評価【 B 】

【理由】盆踊り参加者は去年より増えたが、子供たちの参加が増えない。
新たに、三味線や唄を習いたい人が練習を始めた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- これからも、「くらの市と村祭り」との連携をしっかりととして、踊りを広めていきたい。
- 保育園や学校等ポスターやチラシで働きかけたが参加が難しかったので、他の方法を考える。
- 新たに三味線・唄を練習している人が早く盆踊りで演奏したり唄えるように指導してゆく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある